



大明小学校

## 校長室から

令和2年6月8日

No. 3

文責 校長 穴山 直樹

## 特別な教科道徳



初夏の風もさわやかな季節となりました。新型コロナウイルスの影響を受け、学校再開が5月の下旬となりましたが、無事に6月を迎えることができました。そうはいっても楽観せずに、学校では今後とも感染予防と子どもたちの命と生活の安全を最優先していこうと再確認しているところです。そのために様々な教育活動を制限（内容・規模・期間等を縮小したり、中止したり）していくことがあります。保護者の皆様方にはご理解とご協力を重ねてよろしくお願いいたします。

今回は「特別な教科道徳」についてお知らせしたいと思います。多くの方が「なにを今さら」と思われるかもしれませんが、お付き合いください。道徳の教科化の背景には、深刻ないじめ問題に向き合うということがあります。その対応のために、従来の道徳とは違った体験的な学習をはじめ、道徳的価値に迫る読み物の活用や道徳的価値に関する問題解決的な学習など、多様な指導方法を取り入れた授業を行うことが求められています。たとえば、道徳の教材で「感染症の流行で楽しみにしていた行事が延期（中止）になり、感染した友達に対して〇〇さんが『お前のせいだ』とつい責めてしまった。」という読み物があります。教材ですが、現在の状況を考えますと、十分に起こりうるものだと思います。授業では、この問題場面について「自分ならどうするか」という観点から道徳的価値と向き合うとともに、異なる意見を持つ友達と議論することを通して、道徳的価値を多面的・多角的に考えるという学習をします。いじめにも通じる事態が起きないための学習ですが、よりよく生きるための基盤となる道徳性を育むことにつながる学習です。本校でもいじめ問題の防止、早期発見・対応に取り組みますが、もっと広く学校行事や日常的な生徒指導など学校のすべての教育活動において道徳性に視点を置いた教育を進めてまいります。各ご家庭においても、お子さんがどのような考え方をもち生活してもらいたいのか、どんな大人になっていってもらいたいのかを語り合えるような機会をもつていただくとありがたいです。



## さわやかなあいさつ（ステップアップが楽しみです）

子どもたちが元気に登校しています。私もできるかぎり（通勤に50分ほどかかり、渋滞に出会うこともあったり、緊急で対応が入ったりするので、毎日とはいきませんが、）子どもたちの元気な姿が見たくて大明小学校の北側の道路の横断歩道や甲西中学校前信号付近で見守りをしています。決まった時間に立哨するので、大明小の児童だけでなく、保護者の方や甲西中の生徒や自動車の運転者の方ともだんだん顔なじみになり、あいさつを交わしたり、会釈したりすることができ、朝の楽しみとなっています。はじめは恥ずかしそうにあいさつしていた子どもたちが私の顔をしっかりと見てさわやかにあいさつしてくれたり、私の名前を呼んでからあいさつしてくれたりと同じ「おはようございます」にも親しみや温かさのステップアップが見られます。昨年度の学校評価では保護者の方々からも「子どもたちがもっとあいさつがさわやかにできるといいなあ。」という声もあると聞いています。今年度も学校経営の重点の一つとして取り組んでいこうと考えています。

まず、私自身も子どもたちの手本となるように、自分から積極的にさわやかにあいさつをしようと考えている毎日です。